

ちびっ子鬼物語 「夏祭り」の巻

※登場人物

- ① トシちゃん ② コウちゃん ③ イサムちゃん(三人は笑鬼小学校の四年生です。)
- ④ コウちゃん(トシちゃんの弟で笑鬼小学校の一年生です。)
- ⑤ トシちゃん(コウちゃんのお父さん(おおらかな性格で魚釣りが大好きです。))
- ⑥ トシちゃん(コウちゃんのお母さん(明るくて話し好きです。))
- ⑦ お祭りの役員のおじさん達(皆さんお祭りが好きで行事を盛り上げています。)
- ⑧ バナナ売りのおじさん。金魚すくいのおじさん。お面売りのおじさん。焼きそば屋のおじさん。

「今回の物語は、小学生の時、友だちと行った地域の夏祭りの思い出を書いてみました。．．．山車(だし)を引いたり、子ども神輿(みこし)を担いだり、焼きそばを食べたり、ふんわりして甘い綿菓子を食べたり、お面を買ったり、金魚すくいをしたり、それから．．．。なつかしい思い出が詰まったお話です。」

▼トシちゃんの家族 今日(今日は笑鬼神社の夏祭りだね！)そうですね。夏祭りだ！夏祭り行くことう！今日の宵宮(読みは、よいみや又は、よみや。意味は、定例の祭り前日の祭りのこと。)に行きたいな！

「今日は七月最後の金曜日です。学校が終わると、トシちゃん(コウちゃん(イサムちゃん)の三人は、笑鬼小学校の東門で待ち合わせて家に帰ります。その途中、今日学校であったことや帰宅後何時から遊ぶのかを話します。」

▼トシちゃん コウちゃん(イサムちゃん。明日、笑鬼神社の夏祭りの宵宮に行く？)

▼コウちゃん 行きたいんだけど。明日は、月曜日の国語の時間、クラスのみんなで「ちびっ子鬼物語・全十五巻」を読むから、家に帰ってから読んでおくと、金魚鉢の掃除があるからいけないな。

▼イサムちゃん 家に帰ったら算数の宿題を片付けます。最近、算数が難しくなってきたんで、念入りに復習しておきたいんです。あとお使いもあるからいけないな。

▼トシちゃん みんな宿題があったり、家の手伝いもあることだし、宵宮に行くのは止めて、明後日(あさって)のお祭りには行くことよ！

▼コウちゃん お祭りと言ったら夏祭りだもんね！今年は、焼きそばで腹ごしらえしたいな。それから去年は金魚をすくえなかったから、金魚すくいに挑戦します。

▼イサムちゃん 僕は、取りあえず綿菓子を食べながら二人と行動をとみたいと思います。

▼トシちゃん オレは、テレビで人気のウルトラマン七号のお面を買います。そのほかはお店を見ながら、欲しいものがあれば買います。何時に集合する?? . . . じゃあ午前十時に神社の鳥居の下へ集合でどう? . . . 良いよ！僕も良いです! . . .

「そしてお祭りの日。」

▼打ち上げ花火の鳴る音 ヒュ。パン、パン、パン。．．．ヒュ。パン、パン、パン。

「三人にコウちゃん(コウちゃん)が加わり、約束どおり午前十時に鳥居の下に集合します。．．．そして鳥居をくぐり境内に入るのでした。．．．すると山車(だし)が発発の準備をしています。．．．やがて山車は、トシちゃん(コウちゃん(イサムちゃん)達に引張られて境内を出発し、町内を巡っていくのでした。」

▼山車の上で演奏されるお囃子 テンツク・テンツク・ソーレ！テンツク・テンツク・アッコ

シャー!

「水分補給を兼ねた休憩は、クリーニング店の駐車場、笑鬼小学校の校庭、コンビニエンスストアの駐車場の三ヶ所です。山車が境内に戻ってくるのに九十分程かかります。・・・」

▼**ユウちゃん** お賽銭（読みは、おさいせん。意味は、神様へのお供え物。）お願いします。・・・
▼**トシちゃん** **ユウちゃんのお母さん**（以降は、**お母さん**と書きます。） ユウちゃんこれお賽銭。

賽銭箱（練り歩き用の賽銭箱）に入れるね。

▼**ユウちゃん** お母さんありがとう！

▼**お母さん** ユウちゃん暑いから水分補給するんだよ。は〜い。後ろの方にお兄ちゃんと友達も山車を引いているよ。・・・そうだ。お兄ちゃんに、ユウちゃんとお兄ちゃん達のお昼代を渡しておくから好きな物を食べてね。・・・

「山車は、子ども達に引かれて町内を巡って行くのでした。」

▼**お賽銭**を持ってくる祭り好きの人 はい。お賽銭入れるね。・・・

▼**ユウちゃん** お賽銭ありがとうございます。・・・

「やがて山車は笑鬼神社の境内に戻り、そして境内の中央に止まるのでした。・・・境内にある大きな時計がもうすぐ十二時を指します。」



▼**お祭りの役員のおじさん** 皆さん暑いのに頑張って山車を引っ張ってくれてありがとう。冷たい飲み物で十分に水分補給をしてください！

▼**トシちゃん** あー暑い。・・・水いただけます。ゴクゴク。うわ〜、ひゃっこい（意味は、冷たい。しゃっこい。とも言う。）

▼**コウちゃん** サイダーいただけます。口の中がシユワシユワする。ひゃっこく甘くておいしい。

▼**イサムちゃん** 本当に暑いね。僕も水をいただけます。ゴクゴク。・・・実に美味しい。

▼**ユウちゃん** 水いただけます。ゴクゴク。ゴクゴク。水ってこんなに美味しかったんだ！

「トシちゃんコウちゃんイサムちゃんとユウちゃんの四人は、十分に水分補給をします。・・・そして境内を歩きながら、お昼ご飯何を食べるか見て回るのでした。」

▼**コウちゃん** おー！焼きそばの出店だ。最初は焼きそばで腹ごしらえしよう。イサムちゃんトシちゃんユウちゃんも食べる？ **お腹すいたね。食べよーっと。食べます。ユウちゃん** **も仲間に入れてください。・・・おじさん焼きそば四つください。**

▼**焼きそば屋のおじさん** お待ちどう。焼きそば四つね。一人前百円だよ。

▼**トシちゃん** みんなの分まとめて払うから心配ないよ！

▼**コウちゃん** 自分で払うよ。僕も自分で払うよ。

▼**トシちゃん** お母さんから、みんなのお昼代もらっているから心配なくて良いよ。・・・お兄ちゃん、ユウちゃんはいただけます。

▼**コウちゃん** ・・・・じゃあ、ご馳走になっちゃうかな？ ・・・・いただけます。

▼**イサムちゃん** お言葉に甘えてご馳走になります。いただけます。

「四人は、焼きそばの出店の近くにあるベンチに座り焼きそばを食べるのでした。・・・」

▼**コウちゃん** 一年ぶりの屋台の焼きそば、いただきます。う〜ん一味（ひとあじ）違うね！

▼**イサムちゃん** 焼きそば、いただきます。実に美味しい！

▼**トシちゃん** 紅シヨウガが良いんだよね！ いただきます。この味！、この味！

「四人が焼きそばを食べ終える頃。・・・」

「ここまで読んで頂きありがとうございます。前編はここで終わりです。」

少し休憩しましょう。後編を楽しみにしててください。

▼神輿のかけ声　ワッシヨイ！・ワッシヨイ！・ワッシヨイ！
・ワッシヨイ！・ワッシヨイ！・ワッシヨイ！・ワッシヨイ！・

「暑さも何のその。神輿は町内を練り歩き、やがて神社に戻ってくるのでした。・・・そのその祭りも最高潮を迎えます。・・・神輿はようやく神社（宮入）へ戻ります。」

▼トシちゃん　みんなで境内の出店を見て回ろうか？

▼イサムちゃん　良いね。そうしよう。

▼コウちゃん　良いね良いね。・・・

「トシちゃんは、友達のコウちゃんイサムちゃんと弟のユウちゃんと四人で境内を見て回るのでした。・・・」

▼イサムちゃん　綿菓子屋さんだ。綿菓子買って食べよつと。おじさん綿菓子ひとつください。

▼綿菓子屋のおじさん　お待ちどう。出来たての綿菓子ひとつね。百円だよ。

▼イサムちゃん　おじさん、はい百円。ふんわりしていて甘い綿菓子。これこれ！・・・

▼トシちゃん　お面の売り場に来ました。・・おじさん、ウルトラマン七号のお面ください。

▼お面売りのおじさん　百円ね。

▼トシちゃん　おじさん、はい百円。このお面、前から欲しかったんだ！

▼ユウちゃん　お兄ちゃんそのお面良いね！・・・

▼コウちゃん　来ました！金魚すくい。今年も挑戦しようつと。

▼金魚すくいのおじさん　一回百円だよ。

▼コウちゃん　はい、おじさん百円。・・金魚のすくい方、研究したんだ！目標は二尾以上。

▼ユウちゃん　お。バナナだ！しかも六本付いてて二百円。

安い。僕のお小遣いで買える。・・・

おじちゃん、六本付いてるそのバナナください。

▼バナナ売りのおじさん　バナナ好きなの？二百円ね。

はいバナナどうぞ。ありがとう。・・

甘くて美味しいバナナだよ。

さあ、買ってつて！買ってつて！

「バナナ売りのおじさんは、ユウちゃんにバナナを渡した時、一日一本食べて六日間たべられるね！」と話をしたのでした。」

▼ユウちゃん

おじちゃん。バナナはね、僕のお爺ちゃんとお婆ちゃんに一本ずつあげて。それからお父さんとお母さんに一本ずつあげて。お兄ちゃんに一本あげると、残りは一本か？・・残りの一本は、僕と一歳になる弟で半分ずつ食べるんです。

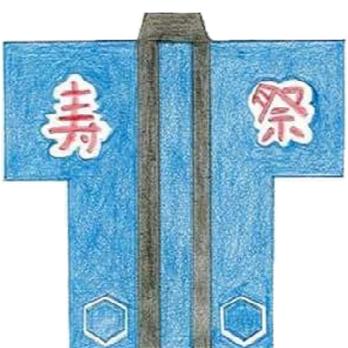
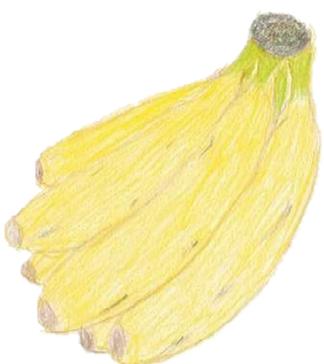
▼バナナ売りのおじさん

僕偉いね。・・（以下、バナナ売りのおじさんの心の声）たいがい子どもは自分が全部食べちゃうんだけど、それがバナナをあげる人が決まっているから驚いた。一番にお爺ちゃんお婆ちゃん。次にお父さんお母さん。次にお兄ちゃん。そして最後に弟と自分（ユウちゃんのこと）で一本のバナナを半分ずつ食べる。家族思いだね。・・親御さんにどんな育て方をしているのか聞いてみたい。

「その時、ユウちゃんのお父さんとお母さんがバナナ屋さんの前を通りかかるのでした。」

▼ユウちゃんのお父さん（以降は、お父さんと書きます。）　ユウちゃんバナナ買ったの？

▼ユウちゃん　真っ黄色で美味しそうだし！僕のお小遣いでも買えるから買ったんだよ！



▼**ユウちゃんのお母さん** (以降は、**お母さん**と書きます。) 本当に美味しそうなバナナですね。

▼**バナナ売りのおじさん** このお子さんのお父さんとお母さんですか？

▼**お父さん** はい、そうです。

▼**お母さん** そうです。

▼**バナナ売りのおじさん** お子さんは小学一年生位なのに、家族思いの実に良いお子さんですね。私がお子さんとバナナ一日一本食べて六日間食べられて良いね、と話すと。そうではなくて、自分が食べる前に、バナナをあげる人が決まっているんです。一番にお爺ちゃんお婆ちゃん。次にお父さんお母さん。次にお兄ちゃん。そして最後に弟と自分で一本のバナナを半分ずつ食べるって言うんです。感心してしまいました。・・家庭は小さな社会です。まずは家庭の中でしつかりと「しつけ」ていくことが、私は大切だと思っています。お子さんは、やがて成人し、きっと立派な社会人になると思いますよ。・・親御さんは、お子さんをどのように育てているんですか？

▼**お父さん** 私たちの子どもをほめていただいてありがとうございます。

▼**お母さん** ありがとうございます。

▼**お父さん** 私たち(お父さんとお母さん)は特別な育て方をしていません。・・朝起きたら、おはよう。食べる前に、いただきます。食べ終わったら、ご馳走さま。外に行く時は、行ってきます。外から帰って来たら、ただ今。・・それと、悪いことをしたら叱る。良いことをしたら、ほめる。その時は、目の高さを同じにして理由を話すようにしています。・・毎日がこれの繰り返しです。

▼**お母さん** 私たち(お父さんとお母さん)にとって三人の子供は宝物なんです。

▼**バナナ売りのおじさん** この親にして、この子あり、ですね。

▼**お父さん** おほめいただいてありがとうございます。

▼**お母さん** ありがとうございます。・・

▼**お父さん** よくよく考えてみると、これは私たちの両親から受け継いだ育て方なんです。・・

「そしてユウちゃんとお父さんお母さんは、トシちゃんより一足先に我が家(や)へ向かうのです。・・家(うち)に帰り、茶の間のちゃぶ台(円形で短い四本足の食事前テーブルのこと)を三人が囲んでいます。ちゃぶ台の上には、六本の真っ黄色なバナナがあるのです。」

▼**ユウちゃん** お父さんとお母さん、僕が買ったバナナ食べてよ！

▼**お父さん** ・・では、有り難くいただきます。・・ 実に美味しいバナナだったよ。ご馳走さま。

▼**お母さん** 甘くて美味しいバナナでしたよ。ご馳走さまでした。

▼**ユウちゃん** (疑問の表情) お父さん??? お母さん??? ・・

▼**お父さん** ユウちゃんの気持ちを美味しくいただきました。だからこのバナナは、ユウちゃんが食べて。

▼**お母さん** ユウちゃんお母さんもお父さんと同じですよ。このバナナも食べてね。

▼**ユウちゃん** (心の声) お父さんとお母さんは、ユウちゃんの気持ちを食べて美味しかったって言ってたけど、バナナの美味しさは、気持ちじゃ分かんないと思うんだけど??? でも僕のお父さんとお母さんは正直だから、美味しかったに違いはないと思うんだ。・・お父さんとお母さんの気持ちを大切に、バナナはユウちゃんが食べることにします。

いっただきまゝす! ・・ もう一本食べちゃった。あゝ美味しかった。

「お父さんとお母さんは、ユウちゃんの家族を思う気持ちが嬉しくて、二人とも目をウルツとしながら微笑んでいます。・・今年の夏祭りの夜のことで。」